

～温泉と卓球～

皆さん温泉は好きですか？古くは「温泉番付」、最近では「名湯百選」「旅行サイトの人気温泉TOP10」というような括りがあるように、日本人はより上質な温泉を常に求めているようです。そんな中、静岡県は大分県、鹿児島県に次いで源泉数の多い全国屈指の温泉県で、宿泊施設数と収容定員数は全国1位を誇っています。少し静岡の温泉について調べれば、修善寺温泉や伊豆長岡温泉、寸又峡温泉、館山寺温泉といった沢山の温泉がまさしく湯水のように見つかります。今回は静岡県の温泉と、温泉と言えば卓球ということで、2つの統計について、これから温泉に入るタクミ君と一緒に分析してみましょう！



タクミ君



お父さん

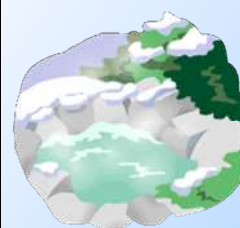


お母さん



温泉はそもそも「温泉法」という国の法律が存在し、温泉を名乗るための条件が「水温が25度以上であること」、「特定の成分を規定の量以上含んでいること」など詳しく定められているんだ。効能は含んでいる成分によって多岐にわたり、温泉ごとの温度も違う。ここでは温泉の「あつ湯」、「ぬる湯」について紹介しよう。

	想定温度	特徴
あつ湯	42度以上	神経が刺激されて心身が興奮、活性化される。血圧が上昇するので温度になれるために丁寧なかけ湯が必要。あまり熱すぎると「痛い」レベルになるがこれが好きという人も。
ぬる湯	39度以下	リラックス効果がある。刺激が少なく、体への負担が少ない。鎮静・鎮痛作用。長時間浸かって湯あたりしないように注意。



「お湯に浸かる」というだけで心身の活性化やリラックス効果が期待できるわね。自宅でお風呂に湯を使う習慣がなく、医学が発達していなかった時代では、温泉はあらゆる病気を治す「聖地」のような存在だったのよ。現在の日本では健康面はもちろん、熱を利用した温泉卵や地獄蒸しといった食に恩恵をもたらしたり、観光の目玉となったりと娯楽的な側面もあるわね。静岡県はそんな温泉を利用した宿泊施設数と収容定員数が全国1位なのよ。



	宿泊施設数(施設)	割合
1位:静岡県	1,878	14%
2位:長野県	1,190	9%
3位:大分県	779	6%
全国	13,108	100%

	収容定員数(人)	割合
1位:静岡県	144,482	11%
2位:北海道	122,126	9%
3位:長野県	98,246	7%
全国	1,371,063	100%

出典:「平成27年度における温泉利用状況(都道府県別)」環境省

温泉から上がったタクミ君は、卓球をしている家族をみつけました。

日本卓球協会登録人数(中学生)
(平成 27 年度末現在)



区分	1位 静岡県	2位 神奈川県	3位 千葉県	全国平均
人数	10,690	10,077	8,835	3,428

単位:人

出典:「日本卓球ハンドブック(平成 27 年度加盟団体登録人数一覧表)」

静岡県は、日本卓球協会における
中学生の加盟登録者数が日本一
となっています。(H28. 3. 31)

やっぱり温泉と言えば卓球だよな!!あれ?そういえば何でそういうイメージがあるのかな?

都道府県別の「温泉を利用した宿泊施設数」と「日本卓球協会加盟団体登録者数(中学生)」で回帰分析でもしてみるか!!

(※回帰分析については5月号のコラム「ダイエットと回帰分析」を御覧ください。)



さて、平成 27 年度都道府県別の「温泉を利用した宿泊施設数」と「日本卓球協会加盟団体の登録者数(中学生) (以下「登録者数」という)」を回帰分析してみると、下表の結果となりました。

重相関Rを見てみよう。

相関係数がいくつ以上だと強いという基準はないん
じゃが、参考にわしの基準を教えよう。

$0.90 \leq |r|$:非常に強い相関

$0.70 \leq |r| < 0.90$:強い相関

$0.50 \leq |r| < 0.70$:弱い相関

回帰統計

重相関 R	0.56
重決定 R ²	0.31
補正 R ²	0.30
標準誤差	280.4
観測数	47



グローブ博士

今回の分析の結果、宿泊施設数と登録者数は弱いけど相関
関係があることが分かるね!

旅館やホテルで卓球に興味を持ち、本格的に始める中学生も
いるのかもね。



タクミも目指せ!!水谷隼選手、伊藤美誠選手!!

伊豆半島は現在、2020年東京オリンピック・パラリンピックの自転車競技の開催地(トラックレース/マウンテンバイク)として注目を集めており、サイクリストの皆さんが伊豆半島でサイクリングする動きも広まっているそうです。観光だけではなく、運動後の温泉も気持ちがいいですね。

皆さんも汗を流しに、温泉に行ってみませんか?

